



皮膚排泄ケア専従看護師 芝 美佐子

紫陽花は梅雨を象徴する花。緩和ケア病棟の中庭にもかわいい紫陽花の花が色付いています。この写真は、緩和ケア病棟「ひだまり」の入口、ナースステーションからほど近い一角。自然に咲きほこる紫陽花にはかきませんが、お花紙で作った紫陽花もかわいいものです。ポイントは、花卉に透明なビーズを散らして雨露をイメージしているところ。雨空の合間から虹の橋ができ、雨水を吸って色とりどりの紫陽花が咲き出す。小さな女の子は、お揃いの傘と長靴を履いて雨降りを楽しむ・・・、とういイメージで作ってみました。

基本理念 思いやりのある医療を実践します。

あなたの権利を尊重し
あなたを中心とした
あなたに適した医療を提供します

1. プライバシーの尊重を実践します。
2. 親切・丁寧なケアを実践します。
3. わかりやすい説明と納得による診断治療を実践します。
4. 地域医療機関との連携強化を図ります。
5. 自ら研鑽に努め、良質な医療の提供に役立てます。



南和歌山医療センターの基本理念である
『思いやりのある医療を実践します』に基づき、

1. 明るく (A)
2. 挨拶があり (A)
3. 愛のある (A)
4. アカウンタビリティ (納得説明義務) (A)

の4つの頭文字のAを基本デザインとしています。

これは丸みをおびた形でやさしさを表現し、4つの理念が集まることで、空 (明るい未来) に向かって羽ばたく鳥を表しています。4つのカラーは黄色が明るさ、赤が愛、青と緑は南和歌山の自然の象徴である綺麗な海と、山を表現し、南和歌山医療センターの環境の良さもアピールしています。

受診者の皆様の義務

- 南和歌山医療センターは受診者の皆様と病院の双方がお互いに尊敬し、協力し合うことが安全かつ良質な医療の提供につながるものと考えます。受診者の皆様には以下の事項に合意し、守っていただく必要があります。
1. 安全かつ最善の診療のためにご自身の身体や必要事項に関する情報を、私たち職員に正確に伝えていただくこと
 2. 検査・治療は説明を受け、納得・合意の上で受けていただくこと
 3. 当院は近隣の医療機関と連携して専門性の高い医療を提供する急性期病院である。救命救急、がんに対する医療と緩和ケアを提供する病院の役割をご理解の上、診療体制維持に協力いただくこと
 4. 病院内では静粛を保ち、院内のルールに従っていただき、他の来院者や入院中の方に迷惑をかけることのないよう配慮していただくこと
 5. 病院内ではお互いに礼儀正しく思いやりのある態度で接していただくこと
 6. 医療費の支払い請求を受けたときは遅滞なくお支払いいただくこと

受診者の皆様の権利

- 患者としてあなたには
1. 良質で公平な医療を受けられる権利があります。
 2. 人格や価値観を尊重される権利があります。
 3. 個人情報を守られる権利があります。
 4. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
 5. 治療法を選択できる権利があります。
 6. 治療法について、第三者の意見を聞くことが出来る権利があります。
 7. 貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

2021年4月より 産婦人科の外来担当医が変更になりました



産婦人科医師 平野 沙緒里

「相談しづらい」「恥ずかしい」「診察がイヤ」産婦人科診療は精神的なハードルが高いという女性は少なくありません。

このようなマイナスイメージが、日本の子宮頸がんのワクチン接種率や検診受診率の圧倒的低さの理由の一端を担っているのかもしれない。

また厄介なことに、このマイナスイメージは、月経トラブルを抱えた女性にも『診療控え』という“負の作用”を与えます。

月経中に明らかに仕事のパフォーマンスレベルが落ちていませんか？

「毎月のことだし」「皆そうでしょ」と我慢していませんか？

産婦人科は思春期の月経異常から妊娠・出産を経て、更年期障害や骨盤臓器脱まで、女性のトータルヘルスケアをサポートできる診療科です。残念ながら当院での分娩体制は整ってはおりませんが、月経困難や月経不順、婦人科腫瘍、更年期・閉経後の婦人科特有のトラブルなど多岐にわたりご相談をお受けいたします。

厄介な“負の作用”に対して、少しでも産婦人科診療を身近に感じていただくため、女性目線で患者様の気持ちに寄り添える診療を心がけます。どんな些細なことでも構いません、どなた様もお気軽にご相談ください。

診療科紹介

「 眼 科 」



眼科医師 田中 公子

私が南和歌山医療センターに赴任し、早3年が経過しました。今年1月から4月まで産休を頂いていたのですが5月から復帰し、日々診察にあたっております。

当科では、結膜炎や白内障といった皆様がよく耳にされる疾患から、緑内障、糖尿病網膜症や網膜動静脈閉塞症などといった専門的な疾患まで幅広く診察をしております。

毎週月曜と奇数週金曜はコンタクト外来をしております。コンタクトレンズは便利な分、感染や過矯正等扱いには十分気を付けないといけないこともあり、初めて使用される方やコンタクトレンズは使っているけれども眼科にあまり来たことのない方には是非受診していただきたいと思っております。

また毎週火曜は手術日としており、午後から白内障手術や硝子体内注射を行っております。

他の曜日の午後からは、視野検査や術前検査等を主に行っております。

近隣の医院、病院の先生方と共に、患者さん一人一人に対して最善の治療ができるよう、これからも日々努力していく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

こころの相談室

こころの相談室は、外来通院中・入院中の患者さんやご家族の方、地域の皆様への心理的な支援を専門的に行うところです。

カウンセリング外来

人間関係の困りごと、生きるのがつらい、職場や学校でのストレスがある、気持ちが落ち込むなどの様々なお相談に応じております。事前にお電話（0739-26-7050）にてご予約ください。

患者さんにご家族への心理支援

通院・入院中の患者さんはもちろんのこと、ご家族の方のご相談にも応じております。

緩和ケアでは、専門の心理療法士を配置し、退院後のフォローまできめ細やかな支援を行っております。

臨床心理・神経心理学検査の実施

心理・人格検査、発達・知能検査、認知機能検査などの心理検査を実施しています。心理検査は患者さんや主治医と相談の上で実施されます。認知症疾患医療センターを受診される方には、心理療法士が記憶力や判断力を調べる認知機能検査を行っております。

発達相談

小児科医の指示の下、小児科医と連携し、カウンセリングや発達検査を実施しております。



編集後記

昨今、新型コロナウイルスの蔓延により、人と人との繋がりが希薄になったと感じていました。しかし、インターネットを利用したコミュニケーションの図り方が急速に進化し、容易に遠方の方と交流することができたり、医療現場では、各団体の学術集会や研修会などもインターネットを通じ行われ、以前に比べると格段に情報収集が行いやすくなっています。

現状が落ち着けば、元のように人と人が直接出会い繋がることを願いますが、インターネットを有効に活用することで深く広く繋がっていけないのではないかと考えています。苦難ではありますが、前向きに物事に取り組みたいと思います。

作業療法士 藤澤 秀生

MRI装置更新のご案内

南和歌山医療センターは、この夏MRI装置を更新します。

令和3年7月2日（金）工事開始

10月初旬 新装置 稼働予定

工事期間中はMRI 1台の運用になります。

ご不便をおかけしますが、
よろしくお願いいたします。

新規導入機種

PHILIPS社製 3.0テスラ MRI (Ingenia3.0T Omega HP)



現在の1.5テスラ装置からの更新で

3.0テスラ装置2台体制になります。

これにより、従来の装置より高画質な画像を提供できる予定です。

放射線科